

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和二年一月度 入選句（投稿総数千八百四十六句・一般投句数四百三十二句）

特選

同窓会みんな十五に冬日和 本巢郡北方町 三輪 幸恵

みんな十五にとは、みんな中学三年生に戻つたと言うことです。
中学三年生と言えば、さまざまな夢を持つころ、異性への思いも芽生えるころ、みんなそんなころにかえつて言えなかつたことが、今なら言えるたのしい同窓会、語り尽くせぬことがらの数々に刻を忘れる冬日和の一日でした。また今度、指切りをしている子たちもいました。

柚子湯して稚児の円き臂を受く 不破郡垂井町 西田 厚堂

柚子湯から出る稚児を宝物のように抱き受ける、この稚児の円き臂を受くのが表現が、たまたまなくいいではないか。柚子の匂いに包まれたまさに搗き立てのお餅に触れる感触。
このまま戴いてしまいたいような衝動に駆られます。抱き受けた稚児のたまらなく可愛い笑顔、この子たちの未来に幸あれです。

新庁舎雪の伊吹を写しけり 大垣市 田辺 義章

待ちに待った新庁舎、でんと冬空にその全容を表しました。
総ガラスの窓に雪の伊吹が絵画のように写りました。雪の伊吹は大垣地方の冬の象徴、美の象徴です。
その雄大な雪の伊吹を写し出した新庁舎・ロボットの登場など、新時代にふさわしい誕生となりました。
大垣市民のやさしいふれあいの場になることを祈ります。

秀逸

伊吹嶺の煌々としてお元日	大垣市	清水 迪子
生き甲斐は十人十色日向ぼこ	愛知県名古屋市	舘野 茂子
弥速と八十路に入りて年暮るる	岐阜市	佐藤 直子
満ちてくる自信静かに梅の花	東京都北区	菱沼 多美子
僧の来て神主ぬけし焚火かな	大垣市	傍島 隆
薫の香の満ちて始まる注連作	大垣市	小林 研
寒椿思ひ出せない数へ唄	大垣市	新町 恵子
また一つ過去を遠ざけ除夜の鐘	大垣市	大原 巖
炉話の神代のこと及びけり	福岡県福岡市	大津 英世
手をつなぎ家族みんなで初詣	加茂郡川辺町	坪内 來斗

入選

年忘れみな一芸を持ち合はす	東京都世田谷区	関戸	信治
陽が落ちて部屋が段々海の底	三重県四日市市	川口	恵子
片手だけ赤き手袋 杭先に	大垣市	宇津	香代子
手袋を脱ぎて握手の分厚き手	大垣市	大杉	すみゑ
走り書きのメモに置きたる柿ひとつ	大垣市	新町	恵子
子等帰り又二人だけ根深汁	大垣市	宮脇	和子
元旦の一番客は庭雀	大垣市	田中	雅子
会ふたびに言葉はいらす初笑ひ	大垣市	中山	あや子
肩一つ叩いて送る大試験	不破郡垂井町	竹嶋	富美子
一人増え一人欠けたる祝箸	大垣市	本田	勢津子

入選

恙なく傘寿むかふや初句会	大垣市	久保田	悟義
恙なく喜寿を迎えて初鏡	岐阜市	田中	淳子
子に小枝持たせ加はる焚火の輪	安八郡神戸町	高橋	泰
綾取りの絡んだ糸糸日向ぼこ	三重県鈴鹿市	松井	政典
八十路かな幼き頃の手毬唄	大垣市	松岡	富子
逆立ちて餌をとる鴨の腹真白	大垣市	村瀬	利明
風になる自由を得たる枯葉かな	長野県下伊那郡	長沼	まさし
日の射して影太くなる枯蓮	大垣市	平野	ヒサエ
雪吊りや池の月影揺れてをり	大垣市	片山	洋紅
ピカソの蒼シャガールの青冬菜畑	岐阜市	堀江	美州

選者吟

変はらぬは幸せなりし日向ぼこ

青志